

第4回親育ち支援地域別連絡会（中部Iグループ）

令和6年9月4日（水） 本山町プラチナセンター

発見しよう！語り合おう！語ればそこが育ちの場

☆アンケート結果から交流会を振り返り、成果と課題について語り合おう！

成果

・様々な経験年数の保育者が集まり話し合ったり、個々の経験談を聞いたりする中で、考え方の幅が広がり、楽しく参加できた。

・ロールプレイを通して、相互の気持ちを理解した効果的な伝え方を学ぶことができた。ベテランの先生の対応から、実践に応用できる知識を得ることができた。

・テーマの「語り合おう！」では、楽しい雰囲気の中、様々な園の保育者が、笑い合いながら語り合うことができた。若い先生達からも意見を出しやすい会になった。～笑って語り合う～

・書き方には報告型・成果型・子育て支援型・互惠型の4つのタイプがあることを知ることができた。子どもの行動（事実）+子どもの気持ちの解釈+保育者としての思い、考察がはいっていることが保護者が一番嬉しい書き方だと分かった。自分の連絡帳、お便りを客観視することで振り返りとなり、これから活用できると感じた。

・写真を使い、みんなで一緒に考えながらドキュメンテーションを作成していくことで、自分一人で作るとき参考になった。

・昨年度に比べ参加者数が増え、若い先生達も気軽に参加してくれる会になってきたことや、チラシを見て興味がわき参加してくれた方もいて嬉しい。

☆次回 親育ち連絡会は

11月13日（水） 13：30～16：30



課題

・各グループの学びを、全体に伝える時間があればよかったと思う。

・お便り交流では、クラス便りや園便りをメインで持参して来ていたが、今回は、連絡帳向きであったと感じた。しかし、育ちを読み取る力を育むには、互いのお便りを見合えたことはよかったと思う。

・写真を使って子どもの育ちを読み取るためには、写真提供者から情報を得た後は、じっくり考える時間が必要だったのではないかな。

・グループ間での情報交流の時間が足りなかったため、もう少し増やす必要がある。

★プラスに向けて★

・アンケート欄に、満足度（5段階評価）をいれてみては？⇒運営側のモチベーションにもつながる。

・お便り研修は、互惠型を探ることから始めると分かりやすいとのことで、今回で終わらせずやってみると良い。

・ロールプレイは、他グループでも見ないものなので、中部Iグループの持ち味として継続していったら良いと思う。